

## 第6回 人間文化研究情報資源共有化研究会プログラム

主催 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 研究資源共有化事業委員会  
日時 平成23年12月16日(金) 12時45分～17時30分  
会場 人間文化研究機構 立川事務所(国文学研究資料館5階)  
〒190-0014 東京都立川市緑町10-3  
当日連絡先: 立川事務所企画課分室 050-5533-2605  
別添案内図をご参照ください。

### テーマ 「人間文化研究情報資源の保全と資源共有化の課題」

- 12:15 開場  
12:45～12:50 開会挨拶
- 第一部 文化財レスキューグループからの報告と提言**
- 12:50～13:20 文化財未満!? – 民家からのレスキューをめぐって –  
国立歴史民俗博物館 小池 淳一 氏
- 13:20～13:50 東日本自治体の津波被災文書の救助・復旧活動とその意義  
国文学研究資料館 青木 睦 氏
- 13:50～14:20 フィールドワークとしての文化財レスキュー – 現状から次のフェーズに向けて –  
東北学院大学 加藤 幸治 氏
- 14:20～14:30 休憩
- 第二部 歴史・文化・民俗資料保全へ向けて**
- 14:30～15:00 歴史資料保全のための国家的課題 – 古文書を千年後まで残すために –  
東北大学 平川 新 氏
- 15:00～15:30 地域歴史遺産という挑戦 – 現代日本における歴史文化を考える –  
神戸大学 奥村 弘 氏
- 15:30～16:00 歴史文化資源情報の保全 – システム工学的見方から –  
国立歴史民俗博物館 安達 文夫 氏
- 16:00～16:10 休憩
- 第三部 全体討論**
- 16:10～17:25 全体討論 ディスカッションを交えて報告者と意見交換を行います  
17:25～17:30 閉会挨拶  
17:30 閉会

#### ○開催趣旨

大学共同利用機関法人人間文化研究機構の連携共同研究事業の柱の一つをなす研究資源共有化事業は、学界連携推進のために、平成21年度より「人間文化研究情報資源共有化研究会」を開催しています。

東日本大震災の救援・復興の経験から、日本の研究教育機関が地域・学界との協同により情報集積し地域・機関に保存してきた、人間文化研究及び日本・日本に関わる歴史・文化の研究情報資源を、全国的規模で大学・研究機関、博物館・図書館・資料館、文化財関係行政機関等が共同してどのように保全するかが、学界・研究教育文化行政・公文書管理行政の課題となっています。地域・学界・研究教育文化行政が緊要の課題としている地域の歴史・文化・民俗などに関わる情報資源の蓄積・保全について、人間文化研究がどのように関わるべきかを検討する場として第6回研究会を開催致します。人間文化研究機構が参加した文化財救援事業のレスキューグループからの報告と提言、歴史資料保全のネットワークからの提言を行います。ご参集ください。

#### 〔連絡先〕

人間文化研究機構 事務局企画課研究支援係  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 神谷町セントラルプレイス2階  
(TEL) 03-6402-9234 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) shien@nihu.jp